

令和元年12月19日

相模原市発表資料

第38 防空砲兵旅団司令部の駐留に関する追加情報について

本日、防衛省南関東防衛局から別紙1「第38 防空砲兵旅団司令部の駐留について(お知らせ)」のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

また、本件について、次のとおり補足説明がありました。

- 当該司令部は、司令部部隊であり、ミサイルなどの装備品を導入する予定はない。また、今般の「車両及び下位の防空部隊との通信のための機器を導入した」ことについては、一般的に司令部(部隊)として機能するため、当然、必要なものであり、当初の説明と齟齬^{そご}があるとは考えていない。
- 「下位の防空部隊との通信のための機器」とは、米陸軍が使用する標準的な通信機器であり、当該司令部が所在する基地内を含め、周辺地域へ影響を与えるようなものではない。
- 当該司令部は、下位の防空部隊に対する指揮、統制及び調整を行うものであり、グアムに駐留するTHAAD部隊が当該司令部の下位の防空部隊に加わった後においても、当該司令部の任務に変更はない。

なお、これに対する市長コメントについては、別紙2のとおりです。

問合せ先

渉外課

電話 042-769-8207(直通)

令和元年12月19日
南関東防衛局

第38防空砲兵旅団司令部の駐留について（お知らせ）

- 1 昨年9月にお知らせした第38防空砲兵旅団司令部の要員115名の配属については、昨年10月16日の正式活動開始より約1年が経過し、ほぼ完了した。
- 2 当該司令部は、車両及び下位の防空部隊との通信のための機器を導入している。
- 3 現時点において、当該司令部にかかわる新たな施設整備の計画はない。
- 4 当該司令部の下位の防空部隊について、日本国内の経ヶ岬及び車力にある2箇所の防衛レーダー通信所並びに嘉手納基地に駐留するPAC3を扱う大隊に加え、本年10月1日からグアムに駐留するTHAAD部隊が新たに加わった。
なお、THAAD部隊が加わったことによる第38防空砲兵旅団司令部の増員や新たな施設整備はない。
- 5 当該司令部の要員は、キャンプ座間、相模原住宅地区及び施設・区域外の住宅に居住し、この要員の早朝及び業務終了後の移動のため、相模総合補給廠へのシャトル・バスを運行している。

第38防空砲兵旅団司令部の駐留に関する追加情報に係る
市長コメント

本日、防衛省南関東防衛局から米陸軍第38防空砲兵旅団司令部の駐留に関する追加情報を受けました。

当該司令部に下位の防空部隊が新たに加わったことが補給廠の機能強化や恒久化につながることはあってはならないと考えています。

司令部の任務や運用など、依然として不明な点が多いことから、更なる情報提供を国に求めてまいります。

なお、国を通じ、米軍による説明の機会についての調整を行っているところです。

令和元年12月19日

相模原市長 本村賢太郎